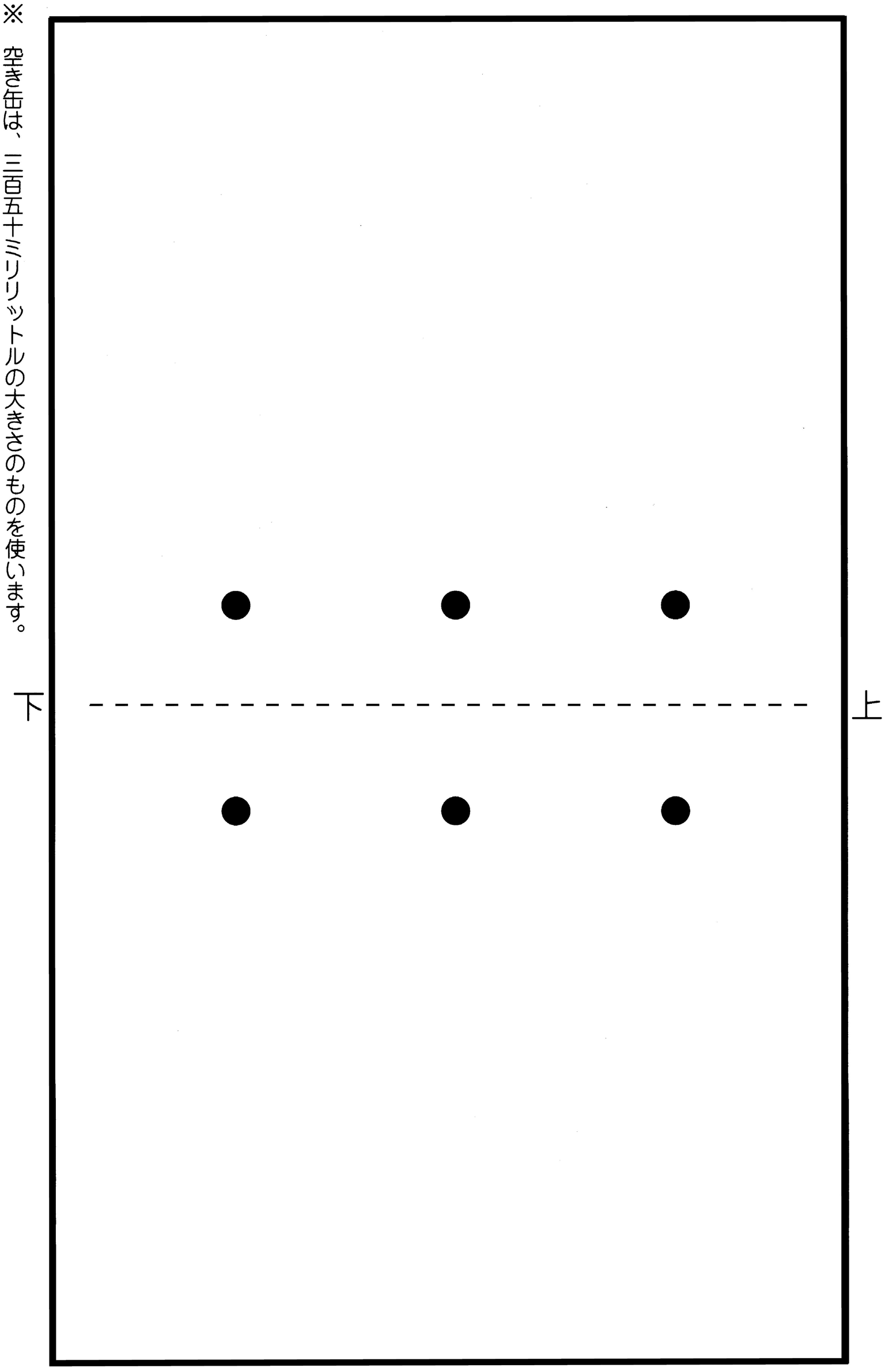※ 空き缶は、三百五十ミリリットルの大きさのものを使います。
※ あいている場所にイラストなどを描いてみるのもいいでしょう。
※ この他に、後ろ側の真ん中に一ヵ所穴をあけます。
※ ●の部分は、穴をあける部分です。
※ 真ん中の点線が、空缶の注ぎ口方向となります。